

(別紙1) 《会派用》

令和7年 6月 1日

狭山市議会議長
太田博希 様

会派名 光と風
代表者氏名 田中寿夫

視 察 報 告 書

このことについて、別紙のとおり、報告がありましたのでご報告いたします。

(別紙7) 《会派用》

令和7年 5月 31日

代 表 者 田中寿夫 様

視察者(代表)氏名 丸橋ユキ

視 察 報 告 書

このことについて、次のとおり報告します。

- 1 期 間 令和7年 5月 12日(1日)
- 2 視 察 先 公益財団法人 埼玉県学校給食会
- 3 調査事項
埼玉県学校給食会の事業内容について
- 4 視察参加人数 1人

参加者は次のとおり
丸橋ユキ
- 5 調 査 概 要
別添の通り

(別 添)

埼玉県学校給食会 視察

2025 年 5 月 12 日

丸橋ユキ（光と風）



埼玉県学校給食会（北本市）

1. 視察内容

- ・ 埼玉県学校給食会の概要説明と質疑応答
- ・ 敷地内にある学校給食歴史館の見学

2. 埼玉県学校給食会の概要

公益財団法人 埼玉県学校給食会とは

昭和 31 年（1956）に財団法人設立。埼玉県内の小中学校や学校給食センターに対し、スケールメリットを生かして学校給食用物資（主に米、パン、牛乳）の供給等行っている。主な事業として、学校給食用食材の安全確保（食品検査、工場審査、衛生管理指導など）と安定供給、学校給食の普及充実・食育支援（調理講習会、親子料理教室など）を挙げ、地産地消にも力を入れている。

学校給食会は、全国 47 都道府県にそれぞれ 1 つずつ存在。これらの団体は「全国学校給食会連合会（全給連）」という全国組織に加盟し、連携を取りながら活動している。

米の供給

- ・ 平成 10 年 12 月から、給食用米を政府米から県産米に切り替え。
- ・ 現在供給している米は、埼玉県産統一規格米と各市町産地場産米
…市町村で収穫される地場産米を 41 町村、お米の生産量が少ない地域には埼玉県産 100% の統一規格米として供給している。

地産地消の食材開発

- ・ 県産小麦 100% 地粉うどん、県産小麦 100% のさきたまロールパン、県産米 50% 使用の揚げパン用米粉パンなど
- ・ 県産農産物を利用したおかずの開発（県産大豆使用の納豆、味噌、しょうゆ、豆腐など）
- ・ 地域の地場産物の掘り起こしとして：桂木ゆずゼリー、狭山市産ブルーベリーのクレープ、小鹿野町産かぼすのゴールデンかぼすソースを開発

3. 質疑応答

Q 給食会の加工品の中身構成、価格構成、開発の基本的考え方は

A 学校給食会の一般食材の学校給食へのシェアは約 15% となっている。新商品開発では、1・埼玉県産農畜産物を使用していること、2・アレルギー物質を極力使用しないこと、3・鉄やカルシウム等の栄養強化をしていることのいずれかを含む食材を中心に開発。現在、埼玉県産農畜産物を使用した食材は、一般食材 53 品目ある。

Q 地産地消の考え方

A 県農林部や JA 全農埼玉と連携して取り組む。県全域への安定供給のために一定数量が必要。原料確保とともに価格を抑える必要があるため、相手方の規模も一定の大きさとなっている。

Q 有機農産物導入の考え方について

A 有機栽培や特別栽培の米の導入が望ましいと考えるが、安定供給のため一定数量の減量確保が必要。付加価値のあるものとなるため価格面では市町村の負担が必要になる。

Q 環境の影響、環境への配慮や対策について

A 異常気象の影響により欠品等の事態が生じることがある。複数の取引先から食材を購入しリスク分散に努めるが、安定供給のための減量確保が年々厳しい状況。環境配慮と対策としては、在庫管理において食品ロスの削減に努める。

Q 給食無償化についての影響、懸念事項は

A 1 食あたりの食材費の基準額を低く抑えられた場合、質や量の低下、価格の安い輸入品等を選択する学校が増え、地場産物を活用した食材が使用されなくなる可能性がある。



桂木ゆずゼリー

4. 学校給食歴史館の見学

学校給食の歴史と意義を広く伝え、食育を推進することを目的とした施設。明治時代から現代までの給食メニューの変遷を、食品サンプルや写真パネルで年代別に紹介していた。学校給食調理コンクールの入賞作品や埼玉県産農産物の紹介もあり、自治体ごとの給食の違いや特色もわかりやすく展示されていた。食器や箸、スプーン類の変遷や、地域差も実物で知ることができ、給食には工夫の余地があることがわかった。



5. 所感

給食食材の安定供給のためにある学校給食会だが、子どもの数も減っている中でその意義は薄れてきているということはないか気になっている。狭山市の学校給食ではどれだけの食材が学校給食会を通したものでしょうか。直接購入による費用との比較もあわせて調べてみたい。

